

教科の中での資質能力の育成 (保健体育科の事例)

- ◆ 学 年 1学年 名 (男子 名 女子 名)
- ◆ 単元名 体育理論 「運動やスポーツの多様性」
- ◆ 単元の目標

○運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、学習に積極的に取り組むことができるようにする。 〔関心・意欲・態度〕

○運動やスポーツが多様であることについて、学習した知識を活用したり応用したりすることができるようにする。 〔思考・判断〕

○運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。 〔知識・理解〕

◆ 単元の評価規準

	ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断	ウ 知識・理解
章の評価規準	運動やスポーツが多様であることについて関心をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	運動やスポーツが多様であることについて、学習した知識を活用したり応用したりしている。	運動やスポーツが多様であることについて理解している。
学習活動における具体的な評価規準	① 運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。	① 運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。	① 運動やスポーツの必要性和楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 ② 運動やスポーツへの多様な関わり方について、言ったり書き出したりしている。 ③ 運動やスポーツの学び方について、言ったり書き出したりしている。

◆ 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本単元の指導において取り入れる活動を通して、育成する資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
「自分のスポーツライフ」という年表に運動やスポーツと自らの関わり方を整理してまとめ、また他者の意見を聞いて、さらに考えを深めてまとめることができる。	課題解決力	学習を通して、新たに自分と運動やスポーツとの関わり方についての考えを整理してまとめることができる。

◆ 指導と評価の計画（全3時間）

時	学習内容	関 意 態	思 判	知 理	○評価規準 (評価方法)	★資質・能力の評価 (評価方法)
1	<p>単元を通しての課題 生涯にわたって、豊かなスポーツライフを実現していこうとするために、運動やスポーツと自分との関わり方について考えよう。</p> <p>・運動やスポーツの必要性和楽しさを理解する。 課題の設定</p>			○	<p>運動やスポーツの必要性和楽しさについて、言ったり書き出したりしている。 (ノートへの記入)</p>	
2	<p>・運動やスポーツへの多様な関わり方を考える。 情報収集 整理・分析</p>		○		<p>運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。 (行動観察) (ワークシートへの記入)</p>	<p>自分の考えをまとめ表現する。また、お互いの意見を出し合い、多様な見方を共有して解決に向けて話し合い、自分の考えを整理し、まとめることができる。</p>
3	<p>・運動やスポーツの学び方について具体的な場面を考える。 まとめ・表現・再考</p>	○			<p>運動やスポーツが多様であることについて、(情報を集めたり、意見を交換したりするなどmの)活動を通して、学習に積極的に取り組もうとしている。 (行動観察)</p>	

◆ 学習の流れ（2時間目／全3時間）

(1) 本時の目標

◎運動やスポーツが多様であることを理解し、自らの関わり方について考えることができる。

(2) 本時の評価規準

◎運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。(思考・判断)

(3) 資質・能力の評価規準

イ(1)イ運動やスポーツと自分の関わり方について自分の考えをまとめ表現する。(思考力)(表現力)

イ(1)ウお互いの意見を出し合い、多様な見方を共有して解決に向けて話し合い、自分の考えを整理し、まとめることができる。(学びに向かう力)

【課題解決力】

(4) 準備物

・ワークシート ・キーワードカード ・既習の生徒の記述資料 ・タブレット端末

(5) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<p>1 課題意識を持つ。</p> <p>東京オリンピック開催に向けて、どのような人があるのか見つける。</p> <p>課題の設定</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習で学んだ運動やスポーツの必要性について振り返る。 ・競技をする人以外にも、いろいろな関わり方をしているとする人の存在に注目させる。 	
<p>運動やスポーツとの多様な関わり方を理解し、将来どのように関わっていくのか考えよう。</p>		
<p>3 ワークシートに書いてみる。</p> <p>もう一度オリンピックに向けた動画を見て、どのような人があるのか見つけ、ワークシートに記述する。</p> <p>情報収集</p> <p>4 ワークシートをもとに内容を整理しまとめる。</p> <p>もう一度オリンピックに向けた動画を見て、どのような人があるのか整理し、ワークシートに記入する。</p> <p>整理・分析</p> <p>5 グループでワークシートを発表し合い、評価し合う。</p> <p>6 本時のまとめを行う。</p> <p>将来、自分が運動やスポーツとどのように関わっていくか「自分のスポーツライフ」を作成し、考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選手以外に、どのような人があるのか注目し、オリンピックへの関わり方について整理させる。 ◇自分の知っている選手や、今まで見たことのあるテレビの情報を取り上げている生徒の記述を紹介し参考にさせる。 ◆キーワードカードを用いて、「行う」「見る」「支える」「調べる」など、多様な関わり方の視点に分けて整理するように注目させる。 ・キーワードを用いて、どのような人があるか整理させて、お互い書き出した内容を分類し合う。 ◆どのようにアドバイスしたらよいか分からない生徒には、伝えるべき言葉は、学習カードの「キーワード」の内容から考えるよう助言する。 ◇ワークシートに記入させる。(個人思考)【考えを持たせる】 ◆ワークシートの記入や分類ポイントが的確に記入されているか巡回指導し、個別に支援する。 ◇グループで特に工夫してまとめている内容に注目させ、発表し合う。(集団的思考)【多面的にみる】 ・多様な関わり方(キーワードカード)の中から自分に合ったものを選ばせる。 グループでの活動を通して整理できたことを発表させる。グループでの活動を通して、お互いの表現(気づきや考え)から活用できる内容を取り入れ、新たな課題を設定させる。 	<p>ワークシート</p> <p>①運動やスポーツが多様であることについて、出された意見や集めた情報を分析したり、整理したりしている。</p> <p>(行動観察)</p> <p>自分の考えをまとめ表現する。また、お互いの意見を出し合い、多様な見方を共有して解明に向けて話し合い、自分の考えを整理し、まとめることができる。</p> <p>(行動観察)</p> <p>★【課題解決力】</p> <p>学習を通して、新たに自分と運動やスポーツとの関わり方についての考えを整理してまとめることができる。</p> <p>(行動観察)</p> <p>(ワークシート)</p>
<p>生徒のまとめ例 将来にわたって運動やスポーツに自分に適した関わり方を考えることができた。自分の年齢や体力、健康の状況に合わせてやっていきたいことを考えることができた。</p>		